



2023年3月期 第3四半期 決算説明

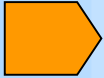
証券コード：6908

2023年2月3日

イリソ電子工業株式会社

IRISO ELECTRONICS CO.,LTD.



-  **I. 2023年3月期第3四半期 連結決算概要**
- II. 2023年3月期 連結決算見通し**
- III. トピックス**

1. 2022年度3Q累計 業績のポイント

- **売上高** : パワートレイン分野の売上拡大、円安により、対前年同期比+21.9%、3Q累計での過去最高売上更新
- **営業利益** : 原材料高騰、1Q上海ロックダウン影響を、売上拡大、輸送費の改善等、収益構造改善の取組みにより、対前年同期比+54.8%

単位：百万円

	2021年度 3Q累計	2022年度 3Q累計	前年比
売上高	32,424	39,519	+7,094 +21.9%
営業利益	3,387	5,242	+1,855 +54.8%
営業利益率	10.4%	13.3%	+2.8pts

2. 2022年度3Q累計 連結決算の概要

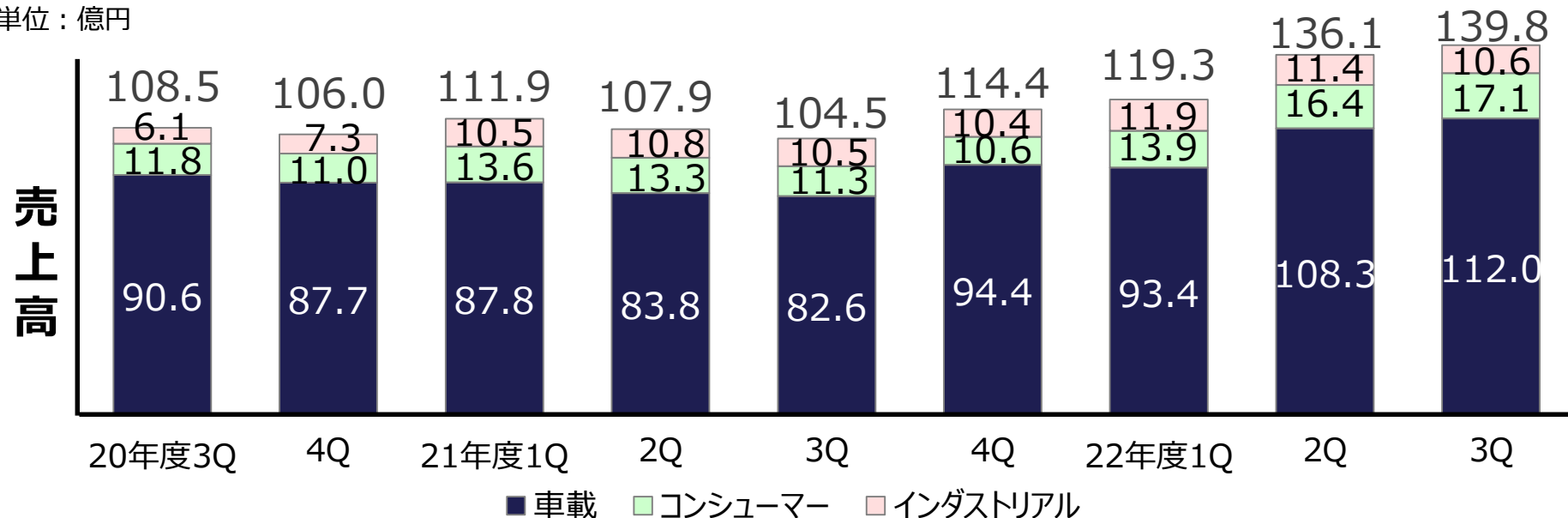


単位：百万円

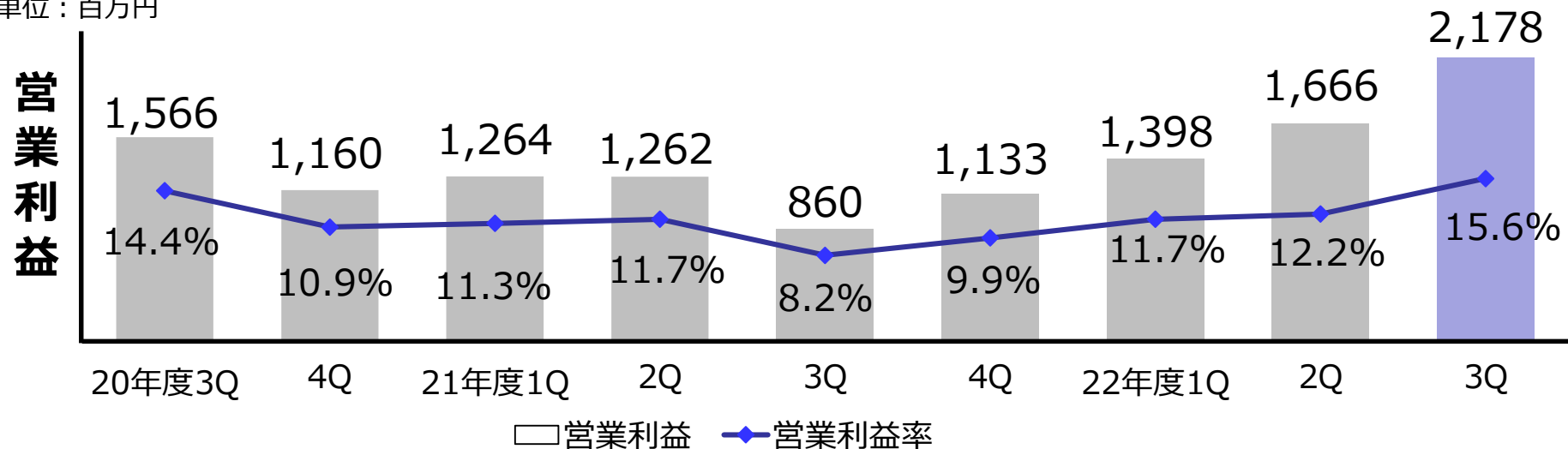
	21年度 3Q累計	22年度 3Q累計	増減額	増減率
売上高	32,424	39,519	+7,094	+21.9%
車載	25,417	31,369	+5,952	+23.4%
コンシューマー	3,823	4,756	+932	+24.4%
インダストリアル	3,183	3,392	+208	+6.6%
売上原価	21,585	26,347	+4,762	+22.1%
売上原価率	66.6%	66.7%		+0.1pts
販売管理費	7,452	7,929	+477	+6.4%
販売管理費率	23.0%	20.1%		△2.9pts
営業利益	3,387	5,242	+1,855	+54.8%
営業利益率	10.4%	13.3%		+2.8pts
税引前利益	3,260	5,435	+2,174	+66.7%
四半期純利益	2,953	4,350	+1,396	+47.3%
EPS	125.44円	184.95円		
設備投資	4,643	6,504	+1,861	+40.1%
減価償却	3,905	4,655	+749	+19.2%
為替レート	ドル：111.38円 ユーロ：130.85円	135.40円 140.42円	+24.02円 +9.57円	+21.6% +7.3%
期中平均	元：17.30円	19.75円	+2.45円	+14.2%

3. 四半期別売上高・営業利益推移

単位：億円



単位：百万円



4. 地域別・製品別売上高

■ 地域別

単位：百万円

	21年度 3Q累計		22年度 3Q累計		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年比
日本	8,063	24.9%	7,577	19.2%	△485
中華・韓国圏	10,971	33.8%	16,121	40.8%	+5,150
アメリカ	4,004	12.4%	4,788	12.1%	+783
欧州	5,196	16.0%	6,027	15.2%	+830
ASEAN	4,188	12.9%	5,004	12.7%	+815
合計	32,424	100.0%	39,519	100.0%	+7,094
海外比率		75.1%		80.8%	

日本

- ・完成車メーカー並びに産業機器生産調整により減収

中華・韓国圏

- ・1Qでのロックダウンからの挽回とパワートレイン分野の継続拡大

■ 製品別

単位：百万円

	21年度 3Q累計		22年度 3Q累計		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年比
BtoB	14,399	44.4%	16,188	41.0%	+1,788
FPC	6,970	21.5%	8,904	22.5%	+1,934
車載IF	8,147	25.1%	11,278	28.5%	+3,131
ピンヘッダー	1,303	4.0%	1,613	4.1%	+309
その他	1,603	4.9%	1,533	3.9%	△69
合計	32,424	100.0%	39,519	100.0%	+7,094

BtoB

- ・“Z-Move[®]”堅調
- ・高速伝送対応の新製品納入開始

車載IF

- ・パワートレイン分野が牽引

5. 対前年比 売上・営業利益変動

単位：百万円

	売上高	営業利益	営業利益率	要因
21年度3Q累計 実績	32,424	3,387	10.4%	
為替影響	+4,197	△165		USD: 111.38円→135.40円、122% EUR: 130.85円→140.42円、107% CNY: 17.30円→19.75円、114%
物量増減	+3,437	+1,720		
材料費増減		△550		1Q△290、2Q△190、3Q△70
固定費増減		△375		労務費、償却費増
上海ロックダウン影響	△540	△180		売上減、関係経費
原価低減他		+1,405		原価低減、価格適正化他
変動要因 計	+7,094	+1,855		
22年度3Q累計 実績	39,519	5,242	13.3%	

6. 連結貸借対照表の状況

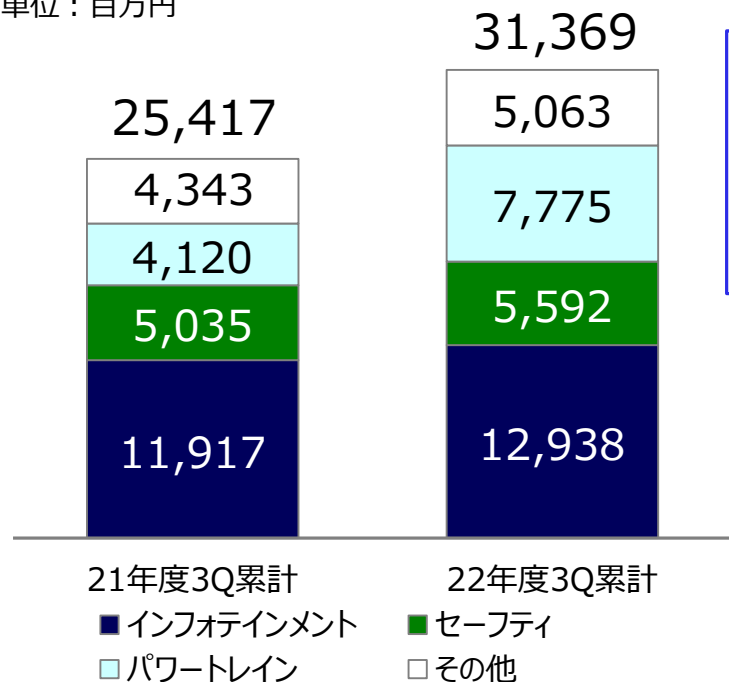
単位：百万円

	21年度	22年度 3Q	前年末比
流動資産	40,436	45,044	+4,607
現金及び預金	14,066	16,237	+2,170
売掛債権	12,889	14,323	+1,434
棚卸資産	11,592	12,782	+1,189
固定資産	32,716	35,289	+2,572
資産合計	73,153	80,333	+7,180
負債合計	11,376	14,278	+2,902
買掛債務	4,504	5,078	+573
借入金	410	2,251	+1,841
純資産合計	61,776	66,055	+4,278
株主資本計	54,660	57,596	+2,936
自己資本比率	83.8%	81.5%	-2.3pts

7. 市場別売上 オートモーティブ(車載)

■ 前年比+5,952百万円 (+23.4%)

単位：百万円



- ・1Qの上海ロックダウン影響:約-5億円
- ・グローバルでの完成車生産台数は、半導体不足等で未だ正常化には至らず
- ・中国や欧州を中心にxEVの生産は好調に推移

インフォテインメント

- ・高速伝送対応可動BtoBコネクタ「10143シリーズ」の納入開始

セーフティ

- ・半導体不足等による影響を受けるも、セーフティ機能の搭載率が高い車種が生産される傾向にあり、増加

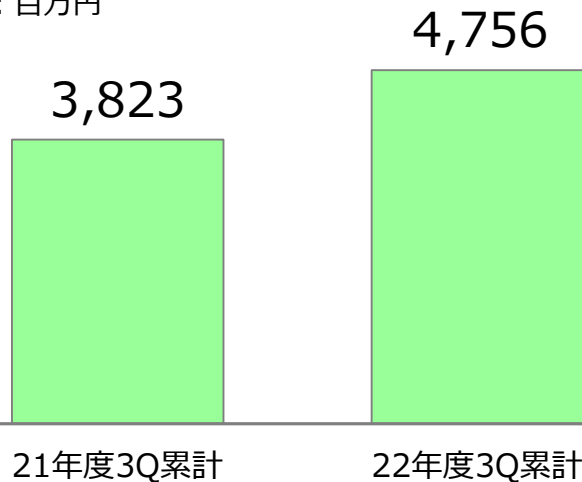
パワートレイン

- ・xEVの増加を背景に、前年同期比+89%と好調を維持
- ・堅調なバッテリー関連と3Qからは充電器向けで搭載台数増加
- ・四半期での最高売上を10Q連続更新中

	21年度				22年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
インフォテインメント	4,221	3,965	3,731	4,097	3,971	4,565	4,401
セーフティ	1,754	1,590	1,690	1,954	1,803	1,946	1,843
パワートレイン	1,260	1,343	1,516	1,727	2,092	2,496	3,186
その他	1,542	1,478	1,322	1,560	1,470	1,820	1,773
合計	8,778	8,376	8,261	9,339	9,337	10,828	11,204

■コンシューマー市場：前年比+932百万円 (+24.4%)

単位：百万円

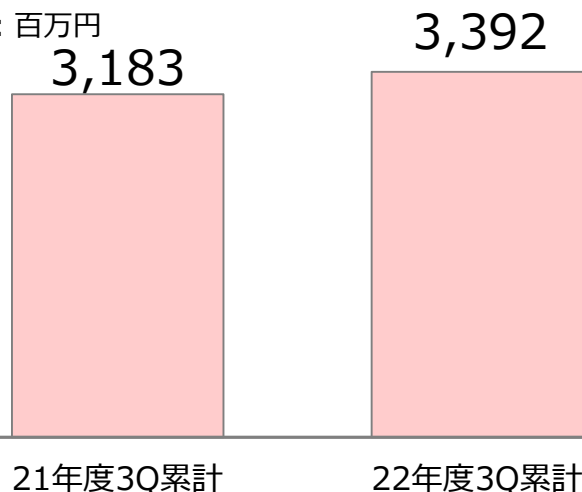


・巣ごもり需要の一服感はあるも、複合機向けとゲーム機向けで増加

21年度				22年度		
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
1,361	1,331	1,131	1,060	1,398	1,647	1,710

■インダストリアル市場：前年比+208百万円 (+6.6%)

単位：百万円



・上期は中国の設備投資需要によるPLC等のFA機器向けや5G基地局向けが好調
 ・3Qからは調整局面へ

21年度				22年度		
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
1,047	1,083	1,053	1,039	1,193	1,138	1,060



I. 2023年3月期第3四半期 連結決算概要

 **II. 2023年3月期 連結決算見通し**

III. トピックス

1. 2022年度 業績予想

■ 11月時修正計画は変更せず。生産調整による売上変動並びに為替変動リスクがあるが、営業利益率12.5%以上の達成を目指す

単位：百万円

	21年度	22年度				前年比	期初計画比
	通期	通期 期初計画	上期 実績	下期 計画	通期 計画	対通期	対通期
売上高	43,863	51,500	25,543	28,456	54,000	+10,136 +23.1%	+2,500 +4.9%
営業利益	4,520	6,160	3,063	3,686	6,750	+2,229 +49.3%	+590 +9.6%
営業利益率	10.3%	12.0%	12.0%	13.0%	12.5%	+2.1pts	+0.5pts
税引前利益	4,570	6,000	3,639	3,260	6,900	+2,329	+900
当期純利益	3,913	4,500	2,901	2,598	5,500	+1,586	+1,000
EPS	166.22円	191.30円	123.33円	110.48円	233.81円	+67.59円	+42.51円
為替レート 期中平均	ドル：112.86円 ユーロ：131.01円 元：17.59円	130.00円 135.00円 20.00円	133.46円 138.79円 19.82円	145.00円 145.00円 20.00円	138.78円 141.66円 19.90円	+25.92円 +10.65円 +2.31円	+8.78円 +6.66円 △0.10円
設備投資	6,172	9,000	3,747	6,252	10,000	+3,827	+1,000
減価償却	5,356	6,300	3,086	3,913	7,000	+1,643	+700

2. 2022年度 市場別売上高計画

単位：百万円

	21年度		22年度				3Q累計 進捗率
	売上高	構成比	期初計画	計画	構成比	前年比	
車載計	34,756	79.2%	41,600	43,700	80.9%	+25.7%	71.8%
インフォテインメント	16,015	36.5%	17,700	18,400	34.1%	+14.9%	70.3%
セーフティ	6,989	15.9%	8,100	8,300	15.4%	+18.8%	67.4%
パワートレイン	5,847	13.3%	9,300	10,000	18.5%	+71.0%	77.8%
その他	5,904	13.5%	6,500	7,000	13.0%	+18.6%	72.3%
コンシューマー	4,884	11.1%	5,600	5,800	10.7%	+18.7%	82.0%
インダストリアル	4,223	9.6%	4,300	4,500	8.3%	+6.6%	75.4%
合計	43,863	100.0%	51,500	54,000	100.0%	+23.1%	73.2%



I. 2023年3月期第3四半期 連結決算概要

II. 2023年3月期 連結決算見通し

 **III. トピックス**

■ 岩手県花巻市に金型新工場を建設

今後のxEV向け車載機器並びにインダストリアル市場を中心とした需要の拡大を見据え、
金型製造の内製化拡大を推進

- ・コスト競争力向上
- ・金型製作リードタイム短縮による円滑な量産立ち上げ

金型新工場概要

名称	花巻工場
所在地	岩手県花巻市(花巻第二工業団地内)
敷地面積	約16,595m ²
延床面積	約1,800m ²
投資予定金額	約10億円
操業開始予定	2023年末

完成予想図



■ 第57回 日本産業広告賞「シリーズ広告賞」受賞

日刊工業新聞社主催の第57回 日本産業広告賞「シリーズ広告賞 佳作」を受賞

それは、設計者魂に火をつけた。 // IRISO

この物語は、その壁を乗り越えて誕生したコネクタ「Z-Move」の開発秘話である。だからこそ、イリソ。

「未来は創れる」

しかし、目の輝きは失っていなかった。 // IRISO

この物語は、その壁を乗り越えて誕生したコネクタ「Z-Move」の開発秘話である。

「未来は創れる」

誰もやったことのない世界初への挑戦 // IRISO

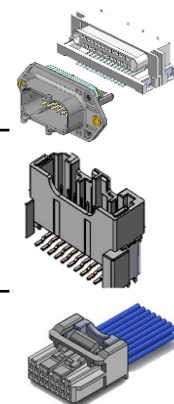
激しい上下運動にも耐えて破損しない... この、コネクタ最大の難題を突破した Z-Move が今日も世界の隅々を決定している。ヒトの命を預かる、その使命感でたどり着いた道のり。だからこそ、イリソ。

「未来は創れる」

■ 戦略製品のラインナップ強化

- ・「高速伝送」、「組立性向上」など今後需要が見込まれる機能を持つ製品やxEVのバッテリー関連向けの製品などのラインナップを強化
- ・国内外の展示会への出展も活用しながら、グローバルで顧客へ提案中

種類	機能	取り組み	搭載機器
可動BtoBコネクタ	高速伝送	垂直接続タイプの追加	ADAS、インフォテインメント、通信機器、ロボットなど
三次元可動コネクタ	組立性向上	基板実装用三次元可動コネクタ×中継用IFコネクタの組み合わせ製品を開発	ADAS、インフォテインメントなど
インターフェイスコネクタ	高耐熱	・垂直接続タイプの追加 ・EU車載規格準拠タイプの追加	xEV用バッテリー、ADAS、インフォテインメントなど



ドイツ ミュンヘンで開催された「electronica 2022」に出展 (2022年11月15日～18日)



会社名	イリソ電子工業株式会社
事業内容	各種コネクタの製造・販売
設立年月	1966年12月
社員数	3,137名(2022年3月31日現在)
資本金	5,640百万円(2022年3月31日現在)
本社	神奈川県横浜市港北区新横浜2-13-8
営業拠点	
国内	本社、福島県、茨城県、愛知県、大阪府
海外	シンガポール、香港、アメリカ、ドイツ、タイ、韓国 中国(上海、大連、天津、蘇州、深圳、重慶)、マレーシア、台湾、 インド
研究開発	本社(イリソテクノロジーパーク)、 川崎(生産技術センター)、岩手県、上海R&Dセンター
工場	茨城県、中国(上海、南通)、フィリピン(マニラ)、 ベトナム(ハイズオン)

コネクタの種類

基板対基板コネクタ (BtoBコネクタ)

プリント基板の接続用に開発されたコネクタの総称でボード・ツー・ボードコネクタ(ボードtoボードコネクタ)とも呼ばれる。垂直接続、平行(スタッキング)接続、水平接続など組み合わせで、さまざまな接続が可能となる。B to B (ビー・ツー・ビー)は、当社の登録商標として市場で広く浸透している。

FPC/FFCコネクタ

FPC基板(Flexible printed circuits)やFFCケーブル(Flexible flat cable)の接続用に開発されたコネクタの総称。コネクタの挿入時に力を加えずにロック可能なZIF(Zero insertion Force)タイプ、挿入したときに力が発生するNON-ZIFタイプがある。

IFコネクタ

IFとは、インターフェイスの略で、機器間の信号の接続を行うコネクタのことで、I/O(インプット/アウトプット)コネクタとも呼ばれる。カーナビ、PCなどさまざまな機器の側面(裏・表面)に装着され、機器への電源供給、音声・映像信号データなどの入出力を行う。

ピンヘッダー

線材をカット加工した“ピン(電導体)”をハウジング(樹脂材でできた絶縁体)で支えたプラグ(オス側)コネクタの基本形であり、さまざまな分野・機器の内部接続(基板間接続)に使用されている。横から見ると、生け花の花止め“けんざん”のように見えるのが特長。メス側はソケットと呼ばれる。

この資料に記載されております業績の予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な資料に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみにより判断されることはお控え下さるようお願いいたします。

なお、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。